



エフィラ愛川ふれあいの村 今月の風景

2026年6月 自然のたより

記録的な大雨を降らせた台風6号が去り、今年も梅雨がやって来ました。関東は例年並みの6月7日が梅雨入りでした。梅雨と聞くと皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。私は青い紫陽花です。最近様々色紫陽花がありますがやっぱり青い紫陽花です。あと、梅雨といえば雨です。そんな梅雨の雨が被害をもたらすような雨ではなく、恵みの雨になるように、そして無事に梅雨明けを迎えたいものです。6月21日は二十四節季の夏至です。いよいよ夏本番です。暑熱順化はもうお済みですか。(高梨)



青い紫陽花



アカシジミ



滑空するノスリ



ティカカズラ



ヤマボウシ



幸せを運ぶ5弁のドクダミ



タイサンボク



ラミーカミキリ



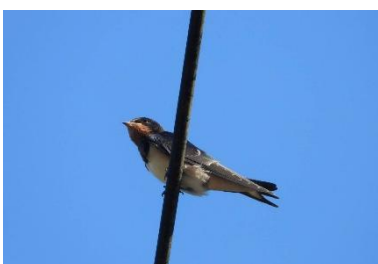
ニホンカワトンボ雌



ミスジチョウ



オオベニヘリコケガ



ツバメ巣立ち



キセキレイ巣立ち



ホオジロ巣立ち



キビタキ巣立ち

トピックス ★梅雨★

6月といえば「雨」を思い浮かべる人が多いと思います。この時期になると北の冷たい空気と南の暖かい空気がちょうど同じくらいの強さでぶつかり、その場でゆっくりととどまるような梅雨前線が発生します。それによって長い期間、雨や曇りの日が続きます。関東付近では、6月の第一週付近から梅雨入りをし、7月の中旬くらいまで続くそうです。7月に梅雨のイメージがなかったので、調べてみて驚きました。また、梅雨入り、梅雨明けには明確な数値がないため、「～日頃」という表記がされるようです。

さらにこれらには「速報値」と「確定値」があり、私たちが普段耳にするのは速報値で、確定値は9月ごろに改めてデータを調べて決めているようです。身近な季節の梅雨ですが、調べてみると新しい発見がたくさんあります。

梅雨は雨が多く降るため、お出かけしたり洗濯物を干したりしにくく、マイナスなイメージもあるかもしれませんが、生き物や私たちにとって大切な水をもたらしてくれる、大切な恵みの季節でもあります。しかし、近年は気候変動の影響からなのか、梅雨の時期が短かったり、雨量が少ないと思えば多かったりと、少し心配になる年もあります。

年々気候は変わって
いっていますが、これ
からも恵みの雨をも
たらしてくれることを
願っています。(川原)



生き物 ★ホトトギス★

「鳴かぬなら・・・」で始まる、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人の武将を表す俳句でおなじみの鳥、ホトトギス。村の中では、鳴かぬならと考えるまでもないほど毎日元気に鳴き声を響かせています。

ウグイスより低い声の「ホキョキョキョキョ・・・」がホトトギスの声です。よく「特許許可局」や「ホンゾンカケタカ」と聞きなしされますが名前の由来も「ホトトギスと鳴くから」らしいので、何と言っているように聞こえるかは人それぞれ違うようです。

ホトトギスは日本では夏に出会える渡り鳥で、その中では5～6月と遅めの時期に到着します。これは食事となる毛虫の多い時期と合わせるためと言われています。

夏鳥もだいたい出揃い、いよいよ夏本番。熱中症に気をつけつつ鳥探しを楽しみましょう！（中島）



旬 ★楮（こうぞ）★

楮のオレンジ色の実に、鳥やシカ、昆虫たちが集まってきます。さぞ甘くておいしいのでしょう。人間も熟した実を食べると甘くおいしいのですが、実の周りには花柱の名残の毛がたくさんついており、そのまま食べるとのどがチクチクに…。そこで、おすすめの食べ方は、ジャムやシロップ。一度布で漉すことで、この毛が取り除けます。じつは、楮の芽も食べることができ、ノンカフェインのハーブとして活用できます。食物繊維はキャベツの20倍、カルシウム、鉄分、ビタミン類も豊富に入っており、スーパーフードなのでは？といわれるほどです。

さて、楮といえば水に強く和紙や書道半紙など身近な紙の原材料でした。『食』という面でも注目できるとは、驚きでした。（鷲山）



来月の見どころ

カメムシマスタートになるう

今年も西日本を中心にカメムシ注意報が発令されています。神奈川県でも冬の時期が寒くなく、スギやヒノキの実が多いなどの条件がそろっていたためか、チャバネアオカメムシやクサギカメムシなど果樹に害を与えるカメムシが多いです。また、人に害を与えるわけではないが危険を感じると強い悪臭を発するカメムシも同様に害虫と呼ばれています。

しかし、青りんごのような爽やかな香りのキバラハリカメムシ（写真上）のようなカメムシが他にもいます。

ハートマークの付いたカメムシは、エサキモンキツノカメムシ（写真下）と言いますが長い名の言われを調べてみると大変面白いです。このカメムシは、ミズキの葉裏に産卵することが多く、産卵した卵のそばから離れないでじっと見守っていてとても愛情豊かです。「一寸の虫にも五分の魂」という言葉がぴったりです。昆虫や植物自然界は不思議なことがあります。みんなで調べてみましょう。（吉田）

